

そば栽培前の水張り（K氏）

- 1 栽培概要
 - ・播種：8月7日（8月18日）
（干ばつによる発芽不良のため追播を実施）
 - ・収穫：10月23日
 - ・品種：でわかおり
- 2 水張り実施概要
 - ・水張り実施面積 10 a
 - ・入水期間 令和5年6月5日 ～ 7月5日
（地区灌漑期間 令和5年5月上旬 ～ 9月下旬）
- 3 現地確認 令和5年6月5日、7月5日
地域農業再生協議会による目視及び写真撮影
- 4 漏水及び排水対策
 - ・漏水対策 4月に水口補修、畦塗りを実施
 - ・排水対策 落水後に明渠排水
- 5 作付履歴 そばの連作2年目の圃場（前作そば）
- 6 収量品質等



湛水時の状況

区名	出芽日 (月/日)	開花日 (月/日)	刈取日 (月/日)	全重 (kg/10a)	子実重 (kg/10a)	千粒重 (g)	容積重 (g/l)	外観品質 (検査等級)
湛水区	8/20	9/4	10/23	435	159	32.7	603	2等
慣行区	8/7	8/23	10/23	433	47	30.7	608	2等

※子実重が慣行区を大きく上回った理由としては、播種後の高温乾燥により、慣行より出芽・開花期が大幅に遅れた（追播した個体はより遅れた）ことで開花期の高温による稔実不良を回避したことや、草丈が短く倒伏の影響が少なくなったことが考えられる。

7 課題

- ・水が落ち着くまでの1週間は、ほぼ毎日水深を確認し入水。その後も2～3日に一度は入水が必要だった。
- ・湛水期間に雑草が繁茂し草刈りが大変であった。
- ・表面の水は明渠で落水できたが、トラクターの車輪跡に残った水は手作業で排水までつなげる必要があった。
- ・7月下旬には耕起できる状態まで乾いたが、水稻追肥や防除作業と重なり、播種が遅れた。

【現地事例：水張り②】

小麦栽培後の水張り（M 営農組合）

- 1 栽培概要
 - ・播種：10月上旬
 - ・収穫：6月
 - ・品種：ゆきちから
 - ・R4小麦播種面積：26ha



湛水時の状況（7/19）

- 2 水張り実施概要

- ・水張り実施面積 14ha
- ・入水期間 令和5年7月19日 ～ 8月22日
(地区灌漑期間 令和5年5月6日 ～ 9月10日)

- 3 現地確認

令和5年7月19日、8月21日
地域農業再生協議会による目視及び写真撮影

- 4 漏水及び排水対策

- ・漏水対策 入水直後に畦畔際のトラクターによる鎮圧
圃場巡回、漏水を確認した場合は手作業で畦畔等補修
- ・排水対策 落水後に明渠排水

- 5 作付体系

- ・令和4年まで
小麦（冬）－ 大豆（夏）－ 小麦（冬）
- ・令和5年以降の計画
水張り（夏）－ 小麦（冬）－ 検討中

- 6 課題

- ・事前に土地改良区、周辺作付者、関係機関に連絡して了解を得るのに苦労した。
- ・定期的に見回りを実施し、湛水状態を確認するとともに、隣接の圃場（園芸作物等）への漏水がないか確認し、漏水が見つかった場合は、速やかに畦畔等の補修等を行う必要があり、多大な労力を要した。
- ・大豆圃場等で春の入水も検討したが、隣接圃場（水稻含む）に漏水した場合、春作業に支障をきたすこと、播種適期を確保できないことが想定されたため、実施していない。